巴杏

三次地区医師会報

No.171

令和３年７月発行

コロナ禍のバイクツーリング

まだ新型コロナウイルスが日本に上陸する前、２年前の還暦になった年に、同級生たちとの忘年会で、いつものように車やバイクの話で盛り上がり、勢いでまたバイクに乗るかとの話となった。

大いに後悔したが、勢いとは恐ろしいものである。若いときにもバイクに乗っていたが、今の年になっても風を切って走るのは楽しいものである。当時は信号で止まった時、ヘルメットのシールドを開けて、仲間同士で大声で互いに意思疎通したものであるが、今はインカムを付けて、会話と音楽を聞きながらの、軽やかなツーリングを楽しんでいる。

対向車のバイカーとかわす以前のピースサインの挨拶は、今はヤエー！というようで、お互いの無事なるツーリングを、という意味なのだという。

事故のないよう、年に合ったツーリングを楽しみたいものである。

栗本　清伸

目　　次

写　　真…… 栗本　清伸
巻頭言　「安心安全な」生活 …… 三次地区医師会 監事　星田　昌吾 … 2
特別寄稿
　コロナ禍における三次市の財政と市政について…三次市長　福岡　誠志 … 4
学術論文
　心不全の薬物療法について
　…… 三次地区医療センター 循環器内科　松井　希乃 … 6
ブロックだより
　市立三次中央病院便り…… 市立三次中央病院 病院長　永澤　　昌 … 7
　三次地区医療センターだより … 三次地区医療センター 病院長　安信　祐治 … 11
　老健あさぎりだより… 老健あさぎり 粟屋事業本部 本部長　森本　　純 … 12
東西南北
　尾関山とサクラについて
　…… 樹木医　正本　　大・三次市都市建築課長　大前　安史 … 15
私の主張 / 私の趣味
　…… 市立三次中央病院　廣川　淳一 … 19
　…… 三次地区医療センター　黒木　一峻 … 20
FAX 伝言板
　禁煙推進・受動喫煙防止活動報告…… 安藤　　仁 … 23
会員紹介
　…… 市立三次中央病院　中村　耕樹 … 29
　…… 市立三次中央病院　大田垣　真 … 29
　…… 市立三次中央病院　小田部和果 … 30
　…… 市立三次中央病院　平田　裕二 … 30
　…… 市立三次中央病院　髙永甲有司 … 30
　…… 市立三次中央病院　森本　皓大 … 31
　…… 市立三次中央病院　鳥井　宏彰 … 31
　…… 市立三次中央病院　山根　　愛 … 32
　…… 市立三次中央病院　石原　文江 … 32
　…… 市立三次中央病院　京田　尚子 … 33
　…… 市立三次中央病院　上田　大介 … 33
　…… 市立三次中央病院　伊藤林太郎 … 34
　…… 市立三次中央病院　岡本　暢之 … 34
　…… 市立三次中央病院　平野　章世 … 35
　…… 市立三次中央病院　益野　麻由 … 35
　…… 市立三次中央病院　廣兼　　桜 … 36
　…… 市立三次中央病院　武藤　雅幸 … 36
　…… 市立三次中央病院　城戸健士郎 … 37
　…… 市立三次中央病院　髙橋　宏輝 … 37
　…… 市立三次中央病院　二階堂貴文 … 38
　…… 市立三次中央病院　高原　由衣 … 38
会員異動…… 事　務　局 … 39
医師会事業所現況報告…… 事　務　局 … 42
医師会日誌…… 事　務　局 … 43
編集後記…… 高場　敦久 … 45
写　　真…… 多田　　誠

「安心安全な」生活

三次地区医師会
監事　星　田　昌　吾

厚生労働省によると、新型コロナウイルス陽性患者が日本で最初に確認されたのは、令和２年１月16日で、中国から帰国した30代の男性でした。中国の武漢市で原因不明の肺炎が発生しているとの注意喚起が政府から発せられた直後のことでした。瞬く間に感染は世界中に拡大し、令和３年５月末時点で、日本全国で陽性者は74万人以上、１万2000人の方が亡くなっています。その後も感染はとどまるところを知らず、飲食店やデパート、公共施設やスポーツ・音楽イベント、映画や演劇など、人が集うありとあらゆる事柄に自粛が要請されてきました。

広島県でも陽性者は１万人を超えました。ついに５月には広島カープでもクラスターが発生し、１軍の主力をほぼ全員入れ替えてリーグ戦を行う状況になりました。三次市では、令和２年４月に新型コロナウイルスの陽性者が確認され、介護施設で約40名のクラスターが発生しました。あれから１年以上が経過しましたが、一向に終息の気配はなく、三次市の陽性者は５月末までで115名に及んでいます。また、ゴールデンウィーク明けには庄原市で飲食店クラスターが発生し、短期間で陽性者は70人以上に及んだようです。庄原市の人口が約３万5000人ということを考えると、ウイルスは変異しながら感染力も強くなっているように思われます。

三次市の要請を受けて、三次地区医師会では会員の皆様のご協力のもと、ワクチンの個別接種体制を整えました。３月から医療従事者優先接種が始まり、センシティブなファイザー社のワクチンを慎重に扱いながら準備をし、副反応の様子を見ながら自院のスタッフに接種し、近隣の歯科医院や薬局の方々へ連絡し日程調整をして接種を進めていくと、まだ医療従事者への接種が終わっていないタイミングで、今度は高齢者優先接種が始まりました。予診票は三次市内の高齢者１万9000人に一斉に送付されたそうなので、各医療機関の電話が数日間は鳴りっぱなしだったのではないでしょうか。いつ入ってくるかわからないワクチンを気長に待ってもらうよう説明しながら予約を受け付け、５月からやっとワクチンの配送が本格化すると、今度は予約待ちの患者様への連絡、そして通常の診療状況を考えながら高齢者へのワクチン接種…と、文字通りコロナ一色の毎日が続いています。

アメリカでは、急速にワクチン接種が進み、大統領就任100日にあたる４月末で目標の２

倍、約２億回の接種を実現したそうです。メジャーリーグの中継を見ても、マスクをしていない観客が見受けられますし、今ではドラッグストアで予約なしでも接種できる状況だそうです。日本でも、東京や大阪などでは大規模会場での接種が始まりましたが、それでも政府が目標とする一日100万回の接種にはまだ遠く及ばず、また、多くの自治体が高齢者接種を７月末までに終える見通しが立っていません。

そんな中、早い段階から個別接種体制を整えた三次市は、７月中には高齢者への接種は完了するようです。それでも三次市の人口と接種率を考えると、ワクチンが充分に供給されるという条件を前提にした上で、各医療機関が週100回以上の接種を継続したとしても、一般接種が完了するのはおそらく数か月から半年またはそれ以上はかかるのではないでしょうか。マスクなしでカープの試合を見ることができるようになるのは、まだまだ先のことになりそうです。

さて、５月12日に三次地区医師会の監事会が行われました。監事として各事業所の令和２年度の運営状況の報告を受けましたが、どの事業所もコロナウイルスの影響を受け事業収入は大幅な減収となっていました。ただ、補助金収入や医師会員の皆様のご協力とスタッフの皆様の努力で、何とか乗り切れたように思います。しかし、この状況が今年度以降も続くようであれば、どうなるかわかりません。

緊急事態宣言も延長され、社会がどんどん疲弊している中で、地域医療は窮地に立たされていると思います。行政と、医師会をはじめとした関係機関がうまく連携を取れている三次市では何とか持ちこたえているといった状況ですが、感染力の強い変異株が広まると、中山間地域の医療はひとたまりもありません。地域の皆様の「安心安全な」生活のために必要なことは何か、私たちは一市民として考えていかなければいけないと思います。

特別寄稿

「前進　新しい三次づくりへ」
～毎日の安心を未来へ繋ぐ～

三次市長　福　岡　誠　志

市長就任から２年を迎え、市民の皆様には、これまで市政運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。令和２年度は、世界的に発生・拡大した新型コロナウイルス感染症への対策に加え、豪雨災害への対応など、市民の皆様の健康と命、そして生活を守るための取組について精力的に努めました。

三次地区医師会の先生方におかれましては、市民の皆様の毎日の安心を確保し、地域医療を守るため、日頃の診療業務のみならず、三次市休日夜間急患センターの運営や学校医等の面で、多大なご協力とご支援をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。また、備北メディカルネットワークの構築・参画や地域包括ケアの推進等、へき地医療の先駆的な取組をされていることにも敬意を表する次第です。

そして、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、感染のリスクが高い医療現場において、日々、患者の皆様に対して真摯に向かい合い、患者の皆様やそのご家族が抱えておられる不安や悩みの解消に努めておられることに、改めて感謝申し上げます。

特に、全国各地で始まっている新型コロナワクチンの接種について、本市では、三次地区医師会の全面的なご協力をいただき、ワクチン接種を希望される市民の皆様がワクチンを安全かつ確実に接種できるための体制を整備し、高齢者の接種を円滑に進めることができております。この高齢者の接種については、現在、36医療機関による完全個別接種方式で実施されており、どの地域よりも安心して、ワクチン接種を受けることが可能となっているものと自負しております。今後も、安全かつ確実なワクチン接種を65歳未満の市民の皆様に提供するため、三次地区医師会との連携を密にさせていただきたいと考えております。

さて、世界中を混乱させている新型コロナウイルス感染症により、市民生活や社会経済は様々に変化しましたが、ここで、日本社会のデジタル化の遅れというものが明らかになりました。

そこで、本市における令和３年度の当初予算については、めざすまちの姿である「しあわせを実感しながら、住み続けたいまち」の実現に向けて、引き続き子育て・医療・福祉の充実や拠点性の維持・向上に係る施策等を推進するとともに、昨年11月に策定した

「第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げた「田園都市×デジタル～つながるみよし」の実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や、喫緊の課題である頻発する自然災害に対する防災・減災事業に取り組むための予算編成といたしました。

DXの推進について、まず、子育て・教育・福祉の分野では、子どもたちの学習への興味や意欲をさらに高め、学力の確実な定着や向上をめざすために、令和２年度に導入したタブレット端末（一人１台）を授業や家庭学習で活用する「三次版学校ICT活用事業」や、妊産婦健診や乳幼児健診の結果、乳児訪問の際の記録などを一元的に集約し、切れ目のない保健相談を行うなどの「ネウボラみよしDX事業」等を行います。

次に、農業分野においては、ICT技術等を活用した自動潅水、自動調光等による収量アップに取り組むとともに、作業管理システムや草刈りロボットを導入し省力化による経営改善を図るほか、通信機能付き自動撮影カメラを活用して集落ぐるみで有害鳥獣捕獲対策を実施してまいります。

さらに、市役所等の窓口における手続き等の利便性の向上を図るため、現金以外にもクレジットカードやQR決済等での支払いができる仕組みや、行政手続きがオンライン上で完結できる仕組みなどを構築すると同時に、高齢者向けスマホ教室の開催などにより、デジタル技術の市民啓発にも努めます。

令和３年度は、これらのDXを推進する事業のほか、新型コロナウイルス感染症の対応を最優先に、災害に強いまちづくりなど、市民の皆様の声に寄り添い、市民のための、市民によるまちづくりのための取組を、着実に実施してまいります。

今後も、日々の暮らしに欠かせず、だれもが安心できる場所である、「まちのお医者さん」を守り、毎日の安心を未来へ繋げていくため、責任と情熱をもって市政運営に取り組んでまいりますので、どうか皆様の格別のご協力とご支援をお願い申し上げます。

学　術　論　文

「心不全の薬物療法について」

三次地区医療センター　循環器内科　松　井　希　乃

超高齢社会を迎え、心不全患者数は120万人（2020年推計）とも言われており、今後もさらに増加することが予想される。日本循環器学会のガイドラインには、「なんらかの心臓機能障害、すなわち、心臓に器質的/あるいは機能的異常が生じて心ポンプ機能の代償機転が破綻した結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、それに伴い運動対応能が低下する臨床症候群」と定義されている。

心不全の病態は進行性であり、それぞれのステージに応じた適切な治療介入が重要とされる。このためには多職種によるチームでの対応が欠かせない。厚労省研究班からは「地域のかかりつけ医と多職種のための心不全診療ハンドブック」が、日本心不全学会からは「急性・慢性心不全診療ガイドライン　かかりつけ医向けガイダンス」が公表されており、その内容を踏まえ心不全の薬物療法について紹介する。

1970年代以降、心不全の薬物療法は病態の解明や分類概念の変遷とともに変化し、基礎治療薬としてACEi/ARB、β遮断薬、MRAなどを用いることが標準的治療となった。さらに、近年の新薬、特にナトリウム利尿ペプチドをターゲットとした新薬（ARNI）の登場により、日本循環器学会のガイドラインでも治療アルゴリズムが2021年に改訂されている。当院で経験したARNI投与例についても具体的に紹介する。

市立三次中央病院だより

病院長　永　澤　　昌

新年度にあたり、ご挨拶申し上げます。三次市のみならず備北圏域の市民の皆さまの健康を担う責任の重さを、コロナ禍にあって益々自覚する毎日です。しばらくは、「ワクチン・プラス」の生活が必要ですが、その上でよりよい生活を過ごして行かれますよう、病院も一緒になって各課題の解決に取り組んで行く所存です。

令和３年度桜の季節となり、新たに迎えた職員は41名です。内訳は医師21名、看護師16名、薬剤師１名、理学療法士２名、社会福祉士１名です。医師の異動のまとめについては、最後に別表を掲載します。４月１日～２日には全体オリエンテーションを行い、当院の存在意義と役割を理解していただいたところです。

令和３年４月１日　新入職員全体オリエンテーションにて

さて、令和３年度における当院の具体的活動方針を述べさせていただきます。今後の病院としての取組みだけでなく、皆さまがたと一緒に取り組んで行きたいことを列挙してみたいと思います。

【市立三次中央病院　令和３年度活動方針】

１．総合的な質の管理（TQM：Total Quality Management）のさらなる推進：トップダウンによる全体管理だけでなく、現場の底力を養う医療の質改善活動をさらに進めます。

①患者安全の基本：現場の質改善活動の活性化を進めます。

５S活動とQC活動を基本柱とする患者安全の具体的施策を推し進めます。

現場でのこれらの活動が当たり前の姿となる風土の醸成をおこないます。

これによる現場の底力アップ、レジリエンス（苦境に柔軟に対応できる力）を発揮できる組織とします。

（５S：整理・整頓・清掃・清潔・習慣、QC：Quality Control）

②委員会活動のさらなる有機化：PDCAの回る活動とします。

次に述べる２～４の項目を活動の内容に入れ込み、年間活動計画を立案し実行する、また評価（中間・最終評価）を必ず行い、その後の活動に結びつけるものとします。

③チーム医療の推進：止まらない、進歩を続ける組織を作ります。

課題を明らかにすることとします。その上でその克服のための具体的活動計画を立てて年間を通じて行動することとします。

２．第３者機関による病院機能評価受審の準備年間：２-３年後での再受審を目指します。

項目３にある、病院建て替え時期の関連からも、比較的早めに受審をし、これをきっかけに、今標準的に求められている病院の機能は何であるかを再確認します。

①事前研修受講による事務力向上を図ります。

②院内機能評価のためのシステム作りを、①を踏まえて行います。

３．病院建て替えのための準備年間：市民にとって望ましい当院の姿を具体的に表現します。

７年後を目安として、病院の建て替えを行うこととなりました。どのような病院の姿を目指すべきでしょうか？これが今年度のテーマです。

①「病院のあり方を考える市民の会」を設けて、360度目線での意見を収集します。

②その上で、病院の機能として、また市立三次中央病院の機能として必要なことを具体的に表現します。このことについて、関連するすべての部署に検討してもらいます。例えば、感染防止対策委員会は、感染対策として必要なインフラ、病院構造はどうあるべきであり、何が必要であるか？　病院機能評価項目を参考にしつつ、創造的でありながらもかつ具体的表現をおこないます。

４．病々連携強化の新しいかたち：備北メディカルネットワークの運用拡大を進めます。

令和３年４月号の医療マネジメント学会雑誌には、その活動について論文として紹介したところです。

http://square.umin.jp/jhm/jhm50/journal/vol21/vol21no4s02.html

地域医療連携推進法人である“備北メディカルネットワーク”では、医療資源の少ない地域における事業として、以下の項目に今年度は取り組みます。またその地理的活動範囲を徐々に拡大して行きたいと考えています。

①医療機器の共同利用･購入（継続的課題）：
会員である４病院以外にも、共同購入の働きかけをしていきたいと考えています。

②医師、看護師、他の医療スタッフの病院間人的交流（拡張的課題）：
今年度では、臨床工学技士を短期で相互に派遣しあうことで、透析業務を中心として業務の標準化、機材の標準化を図ります。

③薬剤の地域フォーミュラリーの推進（新規課題）：
地区薬剤師会との連携を強化し、研修会などを行って地域フォーミュラリーの意識高揚を図ります。その上で，具体的な作業WGを活動させていただきたいと考えています。

５.病院セキュリティマネジメントの見直し：
項目２の受審を睨んだ活動をおこないます。
当院が最も基盤が軟弱な部門です。
「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン適合性チェックリスト」（QRコード参考）を活用して､病院セキュリティマネジメントのPDCAサイクルをシステム化します。
http://www.imisca.jp/index.php?%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89

６．BCPの見直し：関連する会議を年に３回以上開催します。

①新形コロナウイルス他、未知の感染症対応

②災害時の病院の機能維持

③大規模災害での市立三次中央病院の役割の見直しこれらについては作りっぱなしになりがちです。PDCAが止まらないように、活動し続けることが大切です。

７．病院経営の健全性維持：先を見通した経営を常に心がけます。

①計画的で無理のない投資ができる予算案の策定をおこなう。

②総収益に加えて、付加価値価格（比率）を経営指標に組み入れる。
まだ概念的な表現ですが、これよりの人件費率の数値とベンチマークが経営の健全性に直結することが分かっています。

以上、実行することでの当院のレベルアップを図っていきます。

（令和３年５月15日脱稿）

【追記事項：救急体制ついて】

三次市における救急体制と総合診療体制については、再構築が必要になってきたと思われます。

現状と課題：

- 三次市休日夜間救患センターの受療率低下：この状況は4月14日の中国新聞でしっかりと市民の皆さまにも周知されました。
- 市中開業診療所医師の減少と高齢化による救急診療担い手医師の負担増（特に、外科系医師）が明らかに見えています。
- 市立三次中央病院の時間外救急における軽症救急も減少傾向にあります。

• 市立三次中央病院に初期診療を専門とする総合診療医、救急医は不在です。
主に、後期研修医が救急を担っているのが現状です。

その結果、

①経営： 双方とも赤字経営連鎖となっています。

②初期救急医療の質：必ずしも担保されていないと考えています。内科＆外科後期研修医による救急体制は、ストレスを抱えながらの医師のがんばりに頼る医療になっています。

今後の方向性（未来展望）

専門救急担当医＋初期臨床研修医による北米型ER体制へ向かいたいものと、夢抱いています。これにより、赤字幅を縮小し、また質も担保できてくるものと思われます。

専門の救急担当医の常勤配置が必要ですので、大学と交渉しています。配置が実現すれば、質の担保ができますし、初期研修医・ふるさと枠医師のひきつけ効果も生まれます。救急体制の充実につながる好循環をぜひ実現したいものです。まだ、構想の段階でのお話で申し訳ないとは存じますが…。

表. 令和３年度医師異動一覧

科	前任者	異動後勤務先	卒年	採用者	異動前勤務先	卒年
消化器内科	益田　和彦	北広島病院	H21	ナカムラ　コウキ 中村　耕樹	広島大学病院	H23
消化器内科	竹原　悠大	広島大学病院	H28	オオタガキ　シン 大田垣　真	JA尾道総合病院	H31
消化器内科	土谷　江奈	広島大学病院	H28	オタベ　ノドカ 小田部　和果	JA広島総合病院	H31
消化器内科	松原　直矢	神石高原町病院	H29			
内科				ヒラタ　ユウジ 平田　裕二	県立広島病院	H31
循環器内科	中間　泰晴	福永循環器・内科（開業）	H14	タカエコウ　ユウジ 髙永甲　有司	広島大学病院	H23
循環器内科	広川　達也	安佐市民病院	H29	モリモト　コウダイ 森本　皓大	広島大学病院	H31
呼吸器内科	小林　英里佳	安芸市民病院	H28	トリイ　ヒロアキ 鳥井　宏彰	JA吉田総合病院	H27
呼吸器内科	江草　弘基	JA吉田総合病院	H29	ヤマネ　アイ 山根　愛	JA吉田総合病院	H30
糖尿病・代謝内分泌内科	児玉　竜一	広島大学病院	H29	イシハラ　フミエ 石原　文江	安佐市民病院	H31
腎臓内科	安達　悠歩	広島大学病院	H29	キョウダ　ナオコ 京田　尚子	呉医療センター・中国がんセンター	H27
外科	赤山　幸一	東広島医療センター	H10	ウエダ　ダイスケ 上田　大介	広島大学病院	H22
外科	田妻　昌	呉医療センター・中国がんセンター	H25	イトウ　リンタロウ 伊藤　林太郎	呉共済病院	H26
外科	近藤　賢史	広島大学病院	H29	オカモト　ノブユキ 岡本　暢之	JA広島総合病院	H27
産婦人科	綱掛　恵	広島大学病院	H26	ヒラノ　フミヨ 平野　章世	安佐市民病院	H30
産婦人科	張本　姿	広島大学病院	H29	マスノ　マユ 益野　麻由	東広島医療センター	H31
耳鼻咽喉科	服部　貴好	県立広島病院	H28	ヒロカネ　サクラ 廣兼　桜	広島大学病院	H30
泌尿器科	向井　桜子	中電病院	H28	ムトウ　マサユキ 武藤　雅幸	中国労災病院	H28
麻酔科	成田　祥子	安佐市民病院	H28	キド　ケンシロウ 城戸　健士郎	安佐市民病院	H28
脳神経外科	大庭　秀雄	五日市記念病院	H24	タカハシ　ヒロキ 髙橋　宏輝	安佐市民病院	H26
眼科	三好　庸介	三好眼科	H25	ニカイドウ　タカフミ 二階堂　貴文	広島大学病院	H30
皮膚科	平島　昌生	あけぼの皮ふ科（開業）	H13	タカハラ　ユイ 高原　由衣	県立広島病院	H29

三次地区医療センターだより

三次地区医療センター
病院長　安　信　祐　治

会員の先生におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当センターでは医師会立病院として地域に根差した医療を実践して参りましたが、これもひとえに会員の先生方のお力添えの賜物と感謝しております。この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。

昨年度は４月に新型コロナウイルスクラスター発生を起点に、当センター事業計画の大幅な軌道修正を余儀なくされました。院内感染対策、外来発熱対応、発熱患者の受け入れ、コロナ治療後の受け入れなど、これまで経験したことがない対応が求められる一方、患者の受診控えもあり、医療収入は大きく減少しました。しかしながら、医師会の先生方や地域の支援、職員の努力にて地域での当センターの役割は果たすことができたと思っております。

今年度は地域とともに必要かつ十分な新型コロナウイルス対策を継続しながら、安定した病院機能を維持するためには、慢性的な人材不足への対応が急務であると考えます。特に看護師不足は喫緊の課題であり、引き続き奨学金、広報誌などの募集広告や複数のチャンネルを活用しリクルート活動を継続していきます。併せて今年度から中小企業へも適応が開始される働き方改革を現場単位で検討しながら、得られる業務の効率化と多職種ワークシェアリングで当面の看護師不足対策として実施していきます。

令和３年度医師の異動を報告致します。消化器では西村朋之（H24）先生、若井雅貴（H23）先生が広島大学病院へ帰られ、代わりに谷野文昭（H27）先生、玉理太覚（H26）先生が来られました。どちらの先生も若く、一生懸命頑張ってもらえると期待しております。また、市立三次中央病院から派遣頂いている、吾郷里華先生、杉廣貴史先生には引き続きお世話になり、田中幸一先生にも当直業務（三次市休日夜間急患センター兼務）でお世話になっています。退職された先生方にはお礼を申し上げるとともに、今後のご活躍を期待しております。

最後になりましたが、職員一同これからも微力ながら地域医療に貢献できるように頑張って参りますので、今後とも引き続きのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

老健あさぎりだより
三次地区医師会粟屋事業本部の設置について

粟屋事業本部 本部長
（兼）介護老人保健施設あさぎり事務長　森　本　　純

保健・医療・介護の地域環境は、昨年来のコロナ禍で大きく変化してまいりました。

特に介護では、在宅サービスの需要が伸びてきており、また、その内容も従来のサービスの枠では対応できないケースも出てきていますが、マンパワー不足の壁に阻まれ、サービスを提供できないジレンマに陥りつつあります。

三次地区医師会粟屋事業本部は、「連携」をキーワードに限られた資源を最大限活用し、質の高い介護サービスを提供する基盤となることをめざして設立したものです。

経　過

三次地区医師会の介護事業の中核である介護老人保健施設あさぎりは、医療センターの新築移転をきっかけに旧医療センター建物をリニューアルして、平成11年に開設された施設で、上限80人までの入所療養者を受け入れているほか、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの事業を展開しています。

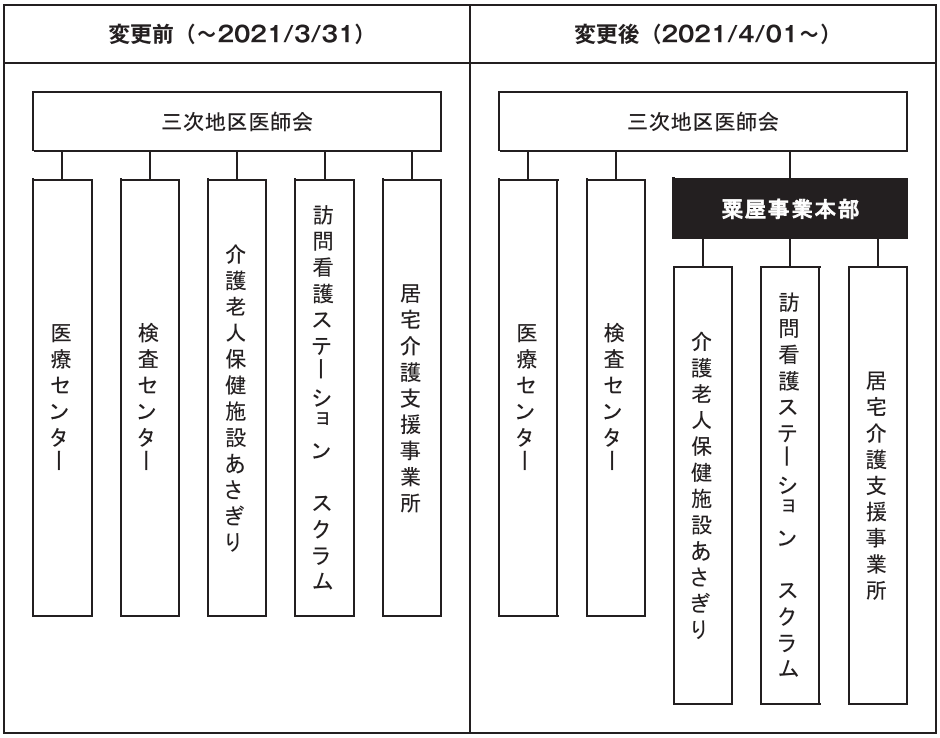
三次地区医師会では、介護老人保健事業のほか、訪問看護事業や居宅介護支援事業の介護保険系の２事業を実施しており、平成18年度までは三次市福祉保健センターに事務所を設けていましたが、平成19年４月からあさぎりの一角に事務所を移転し現在に至っています。

これら３つの事業の令和２年度事業収益は、介護老人保健施設事業が４億５千万円であるのに対し、訪問看護事業が５千万円、居宅介護支援事業が２千万円と大きく事業規模は異なります。

しかしながら、それぞれが個別の事情により創設されたことから、組織運営上の基本的な事務について各事業会計内で完結する組織構成となっており、それは平成19年度に同一建物内に同居することになっても、そのまま踏襲されてきていました。

こういった状況を受けて令和３年４月１日付けで、３つの事業を統括する「三次地区医師会粟屋事業本部（以下「粟屋事業本部」）」を設置いたしました。（図①）

【図①】三次地区医師会組織図



粟屋事業本部の狙い

粟屋事業本部の設置には、大きく２つの目的があります。

一つは事業間の垣根を取り払うことにより組織管理に係る事務の共通化・共同化による事務の効率化及び経費削減、もう一つは事業間の連携を深めることによる介護需要の変化に臨機応変に対応できる態勢を構築することです。

まず、これまで各事業で雇用していた事務職を粟屋事業本部付けの職員とし、３事業に共通する人事・給与、物品調達、保険請求などの事務を一元化しました。

現時点では、各事業に処理している同一の事務を洗い出ししている状況で、そのうち可能な事務から事務局での処理に移行していますが、すべて共通事務が一本化された場合には、事務要員の削減などのコストを圧縮できるものと考えています。

また、各事業の管理者は、看護師や主任介護支援専門員など現場でサービスを提供することができる専門職が就いていますが、これまでは組織管理上の事務に忙殺され、ともすればオーバーワークとなってしまう状況もありましたが、事務負担を軽減することにより十分にその能力を発揮することが可能となりました。

また、これまで３つの事業がそれぞれ単独で提供していたサービス展開の状況を一括して情報共有を図り、場合によっては足らざるを補い合う関係性を強化し、さらには各事業の持つノウハウを持ち寄るなど創意工夫する中から、市民が望んでいるサービスを生み出していく基盤なっていくことも期待しているところです。

粟屋事業本部の成果

「JA三次との包括連携協定」

令和３年４月８日に三次地区医師会とJA三次との間で「三次市の地域包括ケア推進に向けた介護事業の展開に係る連携協定」を締結いたしました。（写真①）

この協定は、地域貢献を目的の一つに掲げている両法人のそれぞれが持つ介護事業の強みを有機的に連携させ、三次市民に必要な介護サービスを提供するための基盤とすることを目的として協定するもので、この協定に基づき共同事業の展開や職員相互の交流による介護の質の向上などに取り組んでいく予定です。

この協定は、粟屋事業本部設置のキーワード「連携」の延長上に位置付けできるものであり、また、JA三次の介護事業とのカウンターパートとしての体裁ができたことによる成果と捉えています。

すでに両者が協議しながら、JA三次のデイサービスへのリハビリテーション職の定期的な派遣（写真②）や合同研修会（写真③）など実現可能な事柄から取り組みを進めており、これからも充実強化を図っていきたいと考えています。

【写真①】協定締結式

【写真②】JA三次デイサービス利用者へのリハビリテーション指導

【写真③】あさぎりで実施した合同研修会

尾関山と
サクラについて

樹木医
正本　大

三次市都市建築課長
大前安史

はじめに

三次市は中国地方の中央部に位置し、中国地方で最大の流域面積を持つ江の川とその支流が市内で合流することから、河港として栄え、古くから山陰と山陽を結ぶ文化・経済・交通の要衝の地として機能してきました。また、JR 芸備線、福塩線が市内を通過し、中国自動車道と中国やまなみ街道が交差するなど交通のクロスポイントとなっています。

尾関山は三次市の中心部である三次町に位置し、約６万㎡の面積と約540本の桜を有しています。春は桜やツツジ、初夏は紫陽花、秋は紅葉、冬は雪景と中国地方屈指の花どころとして有名な公園であり、市民の憩いの場のみならず県内外から多くの方にお越しいただいています。

尾関山の歴史

尾関山は関ケ原の戦いの後、毛利氏が長州萩へ移され、新たに安芸広島の領主となった福島正則の重臣である尾関正勝が、当時、積山や小丸積山とよばれていた三次町の尾関山へ城を構えたことから、尾関正勝の名前に由来して「尾関山」と呼ばれています。

大坂夏の陣の後、広島城無断修復の咎を受け福島氏が改易となり、安芸広島には浅野長晟が新たな領主として入封しました。長晟の死後、息子である浅野長治を藩主として三次藩（広島浅野藩支藩）が立藩されると、尾関山に下屋敷が築かれ、頂上には天守閣を模したと言われる天文台「発蒙閣」が置かれました。

浅野長治の娘には忠臣蔵で有名な赤穂浅野藩藩主浅野内匠頭の正室である阿久里姫がおり、尾関山周辺には阿久里姫を迎えに来た大石内蔵助お手植えの枝垂桜の子孫が今も花を咲かせています。

明治44年旧三次町において、桜・ツツジ・紅葉などを植栽造園し、尾関山公園は一時、関西一円にその名をうたわれました。その後、自然公園として整備に努めましたが、太平洋戦争中の食料増産のために畑として開墾され、この時に城跡等の遺構も破壊されたと言われています。太平洋戦争終結後、尾関山公園復興の動きが起こり、先人の努力が重ねられ昭和31年（1956年）に三次市都市計画公園となり、これまで整備が行われています。

桜について

桜は日本を代表する春の花であり、永く多くの人々に親しまれ愛でられてきました。現

在はコロナ禍で花見もままならない状況ですが、近年は海外からも多くの観光客が桜の季節に来日されるようになっていました。三次市では「桜」が市の花に指定され市内各所へも多くの桜が植え育てられています。

現在でも日本各地で植樹活動や記念樹となると「桜」が候補に挙げられ、毎年相当な本数が植えられています。一方で、「桜切るバカ、梅切らぬバカ」の言葉に代表されるように、桜を切ることは駄目だというイメージが浸透し、手入れが疎かになっている桜も多くあります。手入れをしない桜は経年で衰退するものが多く、特に栽培品種である「染井吉野」はその傾向が顕著です。そのため、「桜の寿命は50年」といった説が定着するようになってしまいました。そして、桜が古くなったら枯れるだろうからと新たな植栽を行い、過密となっている桜の名所も少なくありません。

尾関山の桜

歴史がある尾関山ですが、古くから桜の名所としても広く知られた場所です。尾関山には、約540本の桜が先人の手によって植栽されており、そのうち約７割近くが「染井吉野」です。その他、ヤマザクラ、エドヒガン、カスミザクラ等の野生種に加えて、枝垂桜、関山等の八重桜もあります。エドヒガンについては、樹齢100年を超えるものも多数あり、県内でこれだけ多くのエドヒガンが植栽されている場所は数少なく貴重な存在です。

しかしながら、前述のように手入れの概念不足や過密な植栽によって、年々桜風景の衰退が顕著となっていることは、尾関山においても例外ではありませんでした。

尾関山の桜

尾関山ファンクラブ活動と地域の協力

こういった状況を受け、尾関山の桜の再生を目指すことについて議論する中で、平成29年に「桜の勉強会」が開催されることになりました。勉強会では、「尾関山公園の桜の現状を知ろう！」や「尾関山公園の桜の将来像を考えよう！」といったテーマのもと、樹木医による講演をはじめ、参加者による現地調査、尾関山ならではの魅力などを考える場としてグループワークを行いました。そして、この勉強会から立ち上がったのが「尾関山ファンクラブ」で、地元の方を中心に現在は114名で構成されています。桜保全活動を行うボランティアは数多くありますが、勉強会を繰り返すことから始まったこと、桜を植栽することを中心でなく地道な管理作業を主体としているところに会の特徴があります。加えて、専門家（樹木医）と連携することによって桜との付き合い方を学べる場となっています。ここでは、桜肥料づくりなどを含めた植栽基盤の改善や、枯枝・罹病枝の剪定、過密となった植栽の移植や間伐等光環境の改善など作業は多岐に亘ります。桜に限らず、市の木として指定される「モミジ」やその他尾関山を構成する植生についても配慮した活動を行っています。

さらに、尾関山では尾関山ファンクラブの活動に限らず、地域の方のご協力も欠かすことができません。近隣の三次中学校の生徒さんには、定期的にトイレの清掃や落ち葉拾いをしていただき、また、三次小学校では、尾関山ファンクラブと一緒に河川敷へ花菜の植え付けや尾関山にある樹木に樹名板の取り付けなどご協力をいただいています。その他にも、尾関山での散歩に合わせてゴミを拾ってくださる方、春の桜まつりの前は地元企業による一斉清掃ボランティアなど、地域のご協力を挙げるときりがありません。この場をお借りし、お礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

尾関山ファンクラブの作業

尾関山ファンクラブの集合写真

三次中学校生徒による清掃活動

舞姫の植樹

最後に

尾関山は「尾関山公園サクラ等植生管理計画」を策定し、この方針に沿って管理を実施しているところですが尾関山公園内の樹木は少しずつ、環境の変化や個々の樹勢向上によって景観の再生が前向きになりつつあります。また、新たな話題性の創出を目指し「舞姫」という新品種の桜も阿久里姫像のそばに植えるなど、景観のポイントに変化を加えつつあります。

景観は私たちを取り巻く目に見える全てのもので、山・川などの自然、道路・建物などの建造物、さらにそこで営まれる人々の生活など、様々な要素で構成されています。これらの要素の視覚的な眺めと、その眺めによる私たちの感じ方により成り立っており、言い換えれば「景観」は私たちの価値観を反映したものであり、そこに暮らす人々や来訪者等の意識や行動に影響されて形作られる共有の財産です。人々の営みや生業、地域の歴史・文化が映し出されているものですが、景観を大切に思うことは、地域の営み、地域の歴史・文化を知ることにつながり、こうした心を育むことが地域への愛着につながっていきます。尾関山に対して誇りと愛着を持つことは、魅力的な場所を創ることそのものであると言えます。

現代に生きる私たちは、先人から受け継いできた尾関山を保全・育成し、次代に継承していくリレーの一部を繋いでいるわけですが、今後も地道な管理活動を繰り返し続けると共に、尾関山の様々な樹木や花がさらに活き活きとしたものとなっていくよう取り組んで参ります。

人々の行動が著しく制限され閉塞感が漂う世界となっていますが、この地の景観が心と体のバランスを支えることに少しでも役立ってくれることを願っています。

活動がある際には是非尾関山へ足を運んでいただければ幸いです。

尾関山ファンクラブと三次小学校生徒と植え付けした花菜

私の主張

放射線治療

市立三次中央病院　廣川淳一

市立三次中央病院放射線治療科の廣川淳一と申します。2020年４月より市立三次中央病院放射線治療科に赴任しました。三次地区医師会の先生方にはいつも大変お世話になっております。

このたび執筆の機会をいただきましたので、放射線治療について書かせていただきたいと思います。

放射線治療は手術・化学療法と並んで悪性腫瘍に対する主要な治療の一つです。放射線治療の特徴は「切らずに治すこと」であり、臓器の形態温存・機能温存を目的としています。また放射線治療はより正確に、より多くの線量を腫瘍に集中し、正常組織への線量を少なくすることを目指しています。放射線治療装置（リニアック）の進歩は目覚ましく、高精度放射線と呼ばれる定位放射線治療（stereotactic radiotherapy：SRT）・強度変調放射線治療（intensity-modulated radiation therapy：IMRT）・画像誘導放射線治療（image-guided radiotherapy：IGRT）が行われるようになっています。

定位放射線治療は放射線のビームを多方向から精密に腫瘍に集中させる照射方法で、ピンポイント照射とも呼ばれています。早期の肺癌・早期の肝臓癌・転移性脳腫瘍などが対象になります。

強度変調放射線治療は放射線のビームの強度を調整して腫瘍の形状に合わせて放射線の投与が可能な照射方法です。強度変調放射線治療の技術を用いることで腫瘍に放射線を集中させ、なおかつ腫瘍に隣接する正常組織の線量を低減できます。強度変調放射線治療を行うことにより、局所制御率の向上と有害事象の軽減が可能になります。正常組織である脊髄や唾液腺が近接している頭頸部癌・正常組織である直腸が近接している前立腺癌などが対象になります。

画像誘導放射線治療は毎回の放射線治療の際に放射線治療台の上でCTなどを撮像して、リアルタイムに位置照合を行い、照射部位を修正して照射する照射方法です。画像誘導放射線治療を行うことにより、腫瘍に対して確実に放射線を照射することができます。これらの定位放射線治療・強度変調放射線治療・画像誘導放射線治療を組み合わせて、放射線治療が行われています。

当院のトピックとして放射線治療装置（リニアック）の更新が挙げられ、現在準備を進めているところです。当院の放射線治療装置はHITACHI製のPRIMUS MD 2/7445であり、2007年より稼働しています。これまでの当院の放射線治療装置は高精度放射線治療に対応しておらず、症例によっては広島駅北口の広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）などに紹介させていただいており、先生方や患者様にはご迷惑をお掛けしておりました。このたびの放射線治療装置更新により、当院でも定位放射線治療・強度変調放射線治療・画像誘導放射線治療といった高精度放射線治療が行えるようになります。我々としても十数年に一度の放射線治療装置更新に立ち会うことができ、大変うれしく思います。放射線治療科スタッフ一同、より一層スキルアップを行い、よりよい放射線治療を提供できるよう頑張って参りますので、ご指導の程よろしくお願いします。

私の趣味

読書

三次地区医療センター　黒木　一峻

三次地区医療センターに赴任してまいりました黒木と申します。

私は2010年に山口大学医学部を卒業し、そこから２年間、福島県会津若松市にある竹田総合病院というところで初期臨床研修を受け、その後広島大学第一内科に入局し、以降広島にて働いております。第一内科では主に胃と十二指腸についての研究を行っておりました。

さて、今回巴杏に寄稿させていただくにあたり、テーマが「私の主張」もしくは「私の趣味」とのことでした「主張」と言えるほどのものをありませんでしたので、今回は「趣味」について書かせて頂きたいと思います。

私の趣味は、ありきたりではありますが「読書」が一番になります。私の両親も漫画を含め色々な本を読む人間でしたので、幼少期から我が家には絵本や図鑑、漫画や小説などさまざまな本がかなりの数置いてありました。そのため、幼少期から本はよく読んでいましたが、読む本の内容は年とともに変わっていき、小学生くらいの頃は「十五少年漂流記」などの冒険小説が、高校生頃になると「燃えよ剣」などの時代小説、大学生頃には「月は無慈悲な夜の女王」などのSF小説にハマり、現在では推理小説をもっぱら読んでいます。また、小説と同じで漫画も昔からよく読んでいました。ドラえもんのようないわゆる子供向けのものから、両親の持っていた手塚治虫や石ノ森章太郎の作品も好きでした。また、両親が私に勉強をさせる手段であったのか、漫画でわかる日本の歴史や生き物の歴史のような学習漫画も色々と読み耽っておりました。そうして色々な物を読むことで知らない世界を頭の中で思い描くことが好きだったのだと思います。その後、高校生の頃になると小説の世界から一歩進んで（?）、文字の世界から実際に表現されたもの、例えば落語や演劇・映画にハマっていきました。そして社会人になって自由に使えるお金が増えるようになると、1−2年に1度程度ではありますが旅行を楽しむようになりました。元々漫画の影響で絵画や彫刻などに興味が出てきていた頃にルーブル美術館に行ったことをきっかけに、今では東京や京都、海外で美術館のある街に行った際には必ずと言っていいほど美術館や博物館に立ち寄るようになっていますし、反対に美術館の特別展を見たいがためにそこまで旅行に行くということもあります。

現在、コロナ禍の状況が続いており、さまざまな活動に制限がかかってしまいました。私も代替案を挙げてしのぎつつも新たな楽しみを見つけている状況です。観光情報誌を買ってきて、状況が落ち着いたら旅行したい場所を考えたり、海外の国の名物料理を自炊してみたり、国内のお取り寄せグルメを楽しんだりしています。日本だけでなく世界中が厳しい状況ですが、皆で静かに力を合わせて乗り切っていければと思います。拙い文章でしたが、お付き合いいただき誠にありがとうございました。

末梢性神経障害性疼痛治療剤　薬価基準収載

タリージェ®錠 2.5mg・5mg 10mg・15mg

一般名：ミロガバリンベシル酸塩(Mirogabalin Besilate)
処方箋医薬品　注意－医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等の詳細については、添付文書をご参照ください。

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先を含む）
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2021年1月作成

命のために、
できること
すべてを。

大日本住友製薬
Innovation today, healthier tomorrows

まだないくすりを
創るしごと。

明日は変えられる。

astellas
アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/

PHC
Healthcare with Precision

ハイブリッド型電子カルテシステム
※関連特許出願中

medicom-HRf

◆ 電子カルテに実績あるメディコムのクラウドサービス！

medicom Cloud
メディコムは、
院内運用とクラウドの
ハイブリッド運用サービスを提供！

◆オンライン資格確認もメディコムにお任せ下さい！

パナソニック製カードリーダーで
メディコムだけのオールインワン
方式が可能になります。

Medicom-HRfには医療機器に該当する機能は含まれておりません。

PHCメディコム株式会社
広島営業所　〒733-0002 広島県広島市西区楠木町2-8-7
TEL:082-239-3366　FAX:082-238-2279

▶ホームページもご覧ください。
https://www.phchd.com/jp/phcmn/
右記QRコードからもアクセスできます。

KAITEKI Value for Tomorrow
三菱ケミカルホールディングスグループ

田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。
www.mt-pharma.co.jp

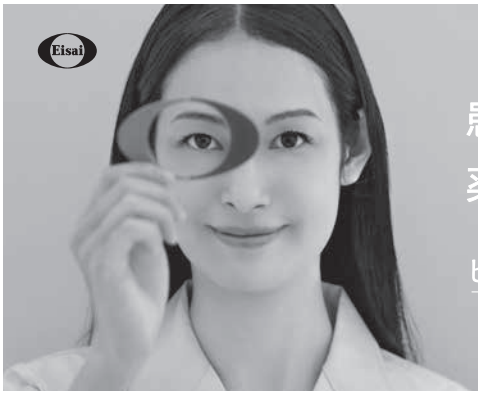
田辺三菱製薬

この手で、未来を。

感じる　描く　動かす
創る　育てる　届ける
そして　抱きしめる

健康で長生きできる未来を
病とその不安を乗り越える未来を
理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で
みんなの手で
希望を信じるこの手で



Eisai

hhc
human health care

患者様の想いを見つめて、
薬は生まれる。

ヒューマン・ヘルスケア企業　エーザイ

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

ファックス伝言板

禁煙推進・受動喫煙防止活動報告 2021.2.～2021.5.

あんどう眼科
禁煙推進委員　安藤　仁

世界禁煙　デー

5月31日は、世界禁煙デーの日です。
タバコの煙に含まれている有毒物質やニコチンの悪いことを知ってください。タバコなどの煙を吸わないのが当たり前になるようにと願って世界で行われてきたキャンペーン。

毎年禁煙イベントをサングリーンで開催してきましたが、新型コロナウイルス禍で昨年に引き続き今年も開催できず残念です。

新型コロナ感染症対策が不十分と判断されて５月16日（日）から、広島県全体に緊急事態宣言が出されてしまった状況ですから仕方ありません。

タバコ､新型タバコ（加熱式ニコチン吸入器）どちらでもニコチンが、悪影響をしてヒトの細胞表面にあるACE２受容体の数を増やします。新型コロナウイルスはACE２受容体にウイルスの突起部分をくっ付けてヒトの細胞内に入りウイルスを増やし細胞を破壊します。
電子タバコも様々な化学物質が入っていて、口から肺の中まで炎症を起こさせ感染症になるリスクを増やします。　煙などを吸っていて良いことはありません。すぐ止めましょう。

2021年WHOのスローガンは、
禁煙に取り組もう。
厚労省の決めた日本の禁煙週間のテーマは
「たばこの健康影響を知ろう！～新型コロナウイルス感染症とたばこの関係～」

仲間由紀恵さんですが、足元のスリッパが気になりませんか？

WHOは、1988年４月７日を「第１回世界禁煙デー」としました。その後毎年５月31日とすることが定められ、1989年以降毎年５月31日が世界禁煙デーとされました。今年で34回目になります。

新型コロナウイルスが肺にとりつくことでタバコ産業は、新型コロナの手助けをしているとWHOのポスターに書いてあるそうです。

日本禁煙学会理事長作田先生が禁煙ジャーナルに、タバコをやめるべき理由を書かれておりますので幾つかをご紹介いたします。

タバコが、毎年世界で
800万人以上の命を奪っています。

1. 新型コロナに感染した場合、喫煙者は重症化しやすく、死亡リスクが高くなります。
2. タバコを使用するとたちまち
あなたのルックスが損なわれます。
3. 家族と友人の健康を損ねます。
4. 紙巻きタバコや電子タバコは
子どもの健康と安全を脅かします。
5. タバコ使用は社会活動に
有害な影響をもたらします。
6. タバコ製品を買うお金は莫大です。禁煙すればもっと大事なことにお金が使えます。
7. 喫煙は不妊リスクを高めます。
8. 紙巻きタバコでも、加熱式タバコでも、電子タバコでも大きな害があります。
9. タバコ製品を買うと、葉タバコ耕作に携わる人々と子どもたちを搾取し、タバコ製品使用者の病気と死亡を増やすことにつながります。
10. 加熱式タバコも　とても有害です。
11. 電子タバコも有害です。
12. タバコ使用、とりわけ紙巻きタバコ喫煙は肺を冒します。

タバコの害は取り上げ始めたら止まらないのですが、どうして喫煙を止められないのか？すべては、ニコチンの罠という事ですね。

タバコを一度吸いだしてニコチンの罠にはまってしまうと、なかなか抜け出せません。

ですから、禁煙教育を小学校１年生から始めても良いと思われます。2018年から**がん教育**が始まったのですが、皆さんどうされていますか？

県医師会から日本医師会の常任理事になられた呉市の渡邊弘司先生が2019年12月25日の医師会速報の禁煙コーナーに「禁煙活動におけるがん教育の活用」を投稿されていました。

がん教育はがん対策基本法の第５節第23条の「国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解が深めることが出来る様に、学校教育及び社会教育における
がんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする」に準拠し推進されている。2017年度の学習指導要領に小、中、高と指導の工夫が記されました。広島県教育委員会も準備を始められた。中学校のがん教育の中では、親の喫煙をやめさせたいなどの希望を持つ子どももいて喫煙防止を強調しなくても十分禁煙啓発の効果があったそうです。

年が変わって、年末から噂されていたあの中国武漢で大変なことが始まっていると報道されてきました。新型コロナウイルス禍で､がん教育も禁煙推進もしにくくなってしまいました。

2020年１月から始まったコロナウイルス感染症で、２月に象徴的な出来事が有りました。新型コロナウイルス感染症にかかった乗客を乗せたプリンセス・ダイヤモンド号が横浜港に接岸してきたことです。

何をどうすればよいのか、おろおろするようでした。感染症の専門家が対処されて感染者と非感染者を分けて上陸させられたら良かったのではないかと思いました。オリンピック村があるじゃないですか。国立感染症研究所のホームヘージの情報では世界57カ国から船員1,068人, 乗客2,645人の計3,713人が搭乗していたそうです。PCR検査を全員にすればよいと思っていた先生も多かったのでは。それが出来なかったのが日本のPCR検査の低普及率。

世界では全自動化されていたPCR検査が、日本では技術が古いままの手作業が多い検査で専門職が少ないと聞きました。全自動の器械を日本メーカーがフランスに輸出しているのに日本政府は買えなかったともテレビで聞きました。

一台1000万円したとしても例のアベノマスクの予算が460億円と言われていましたが実際は

260億円で済んだそうで、余った200億円で全自動が2000台買えたことになります。いち早く日本メーカーに頼んだのでしょうか？

毎年北部保健所で行われてきた備北地域保健対策協議会主催の2019、2020年度たばこ対策関係者研修会も行われませんでした。 三次地区禁煙推進委員会の年２回の勉強会も2019.12.4.㈬の第11回禁煙外来担当医の会　を最後に開催出来ていません。申し訳ありません。

医師会速報５月15日号にご案内されていた第21回たばこと健康・広島フォーラムの案内を禁煙外来担当医の先生にファックスでお知らせさせていただきました。

WEB配信でご参加いただけましたでしょうか？講師のお二人の演題は、日本禁煙推進医師歯科医師連盟会長の斎藤麗子先生の「タバコ問題今昔、命を守るこれからの喫煙対策」と、日本禁煙学会などで海外の論文を翻訳されて最新情報を紹介され続けている旭川北医院の医院長松崎道幸先生の「新型コロナとタバコ：最新知見」。本当は会場でお聞きしたい先生方です。会の後にお話をしたいなと通常ならではの妄想です。

マツダスタジアム敷地内禁煙化を、さらに進めなければならないことが起こりました。そうです、カープの選手やコーチ、スタッフなど計11名の新型コロナウイルス陽性者が５月22日現在判明しております。５月17日（月）菊池選手は朝39.8度の発熱で、PCR検査をしたところ陽性反応が出たと分かり自宅療養中。佐々岡監督以下74人にPCR検査をしたところ小園選手と正隋選手が陽性。その後８名が陽性となり計11名になった。５月21日の阪神戦から対戦中止となりました。今年度は日ハムが５月２日～５日４試合を中止していた。中止は、２チーム目。

２年前にマツダスタジアムに板だけで囲んだ煙を出さないための仕切りのない　煙垂れ流しやりたい放題の喫煙所が５階にありました。そこから煙が下のフードコートに降り注ぐ場所なのでビックリ。

広島県医師協だより2019年10号に気になるマツダスタジアム喫煙所と題してこの喫煙所のことを投稿しておりました。その他に５か所あって計６か所ありました。至急調査と対策をして下さいと書きました。今回ホームページでまた喫煙所の所在地を確認しました。喫煙所は５か所になっていました。このとんでもない喫煙所は無くなっておりました。やった。広島市健康推進課の皆さまはご存知でしょうか？

禁煙推進委員会からの要望の一部がかなったようです。目標高く敷地内禁煙化。喫煙者は新型コロナにかかりやすいと言われております。治療期間も長引き重症化もしやすいと。喫煙所は喫煙者が集まりやすく密閉、密集、密接の３密になりやすく濃厚接触者となりやすい。カープの応援に行けなくて残念です。三次きんさいスタジアムの試合も出来ません。ぜひマツダスタジアム敷地内禁煙化を求めていきましょう。

ここはどこ？　下の写真をご覧下さい。右手上部に道路案内板があります。三次駅は左方向の案内が見えます。左手はガソリンスタンドです。中央には赤いディーゼル列車、三次駅構内。

さらに東側に移動しますと、たばこ屋さん

と貸駐車場です。駐車場は目測幅15m奥行き30mあれば450㎡で約140坪。

二つの写真の中央に結婚式場の平安閣の入り口が有りました。今は、見る影もなく完全に取り壊されました。

貸し駐車場の奥から撮影させていただきました。ま～細長い土地です。目測で35m×120mで4200㎡さらにスタンドの横が25m×20mの500㎡で4700㎡　約1400坪でしょうか？さらに貸駐車場はルートインホテルが使えるか不明だそうですが約140坪。使える土地は約1500坪。

貸し駐車場を使えるようにホテルを誘致したい立場の三次市や商工会議所は交渉しているはずとのうわさを聞いています。あそこの土地は賃貸なのでしょうか？

６月からルートインがホテルの建築に着工し、来年の2022年夏ごろに11階建て250室のホテルが出来る予定と商工会議所だより去年の令和２年11月号に書かれていました。解体工事は３か月遅れていたようですので完成は遅れるかもしれません？

市と商工会議所が要望している宴会場にもなるコンベンション機能のあるフロアーが併設できるのか公にされていません。医師会など大きな会場が欲しい団体は多くあります。設計が出来ているものなら大きく紹介されても良い時期ですが、貸し駐車場の件も進まず期待できないのでしょうか？残念です。外部から人を呼び情報を生で手に入れられるコンベンション会場が出来ませんか！！これから出来るものには市も出来るだけの協力をしたいと聞いていましたが。

和食処の森新さん前の広い土地が出現しましたが、まだ購入者は決まっていないようです。ホテルが出来るとも言われていましたが、コロナ禍の中　ルートインホテルが出来るのではと足踏みをされたようです。

旧市内の中に大きな空き地が出来ています。三次市活性化のために民間任せだけではなくなお一層の三次市や公的な機関のテコ入れが必要であり大切ではないでしょうか。

市立三次中央病院だより「花みずき」2021.５.で、永澤　昌病院長は、令和３年度の活動方針として３.病院建て替えのための準備期間：市民にとって望ましい当院の姿を具体的に表現します。７年後を目安として、病院の建て替えを行うようになりましたと明言されています。２年前でしょうか？建て替え計画はございませんかとお聞きしたことが有りました。その時には、具体的な明言はございませんでした。

今の病院は1994年９月開院されていました。築27年になり、築35年までに新病院をという事です。東京五輪・パラリンピックが済み

2025年大阪万博が終わった2028年度開院という事でしょうか。建設費の値段が下がってきたころに着工できれば良いですね。１床あたり2000万円が相場のようです。高いですね。例えば200床にするとして40億円です。建物以外の医療設備などを何処まで買い替えるか、同額として40億円。計80億円。公立病院ならではの補助金などがあれば半額の負担になるでしょうか？ 40年で払うとして年１億円＋α　不可能ではないでしょうね。現実のことが分かっておりませんので間違っていたらお教えください。３月19日の中国新聞県北版に建て替え検討へとの記事が載っておりました。延べ床面積は２万３千平方メートル約7000坪とのことです。同じ延床面積で建て替えるとすると坪単価100万円が広島の相場だそうですが、公立病院は単価が高くなりがちとのことで200万円も有りかどうか？ 70億～140億円設備費や医療設備費に70億加えると
140億～210億となりそうでしょうか？大変な金額になりますね。350床は人口が５万人を割るこれからの三次市では大きすぎそうです。250床か300床か？新型コロナのような感染症や南海トラフ地震のような大きな災害が襲ってきたときに病棟として使えるスペースを最上階に確保する時代になりそう。

出来た時には素晴らしい病院と思いましたが、入院された人などに聞くと狭いし使いにくい所があるそうです。１年でも２年でもかけて、多方面の人からヒアリングをしてはいかがでしょうか。入院患者さんや通院患者さん、付き添いに来る人などから、安心して安全に利用できるアイデアを聞き出せたら素晴らしい。働くすべての人から働きやすく安全な病院にする改善点が出されたら素晴らしい。医療従事者のお困りごとの改善が安全・安心の向上につながります。すべての市民から　未来の主役の小学生や中学生からも聞かれたらどうでしょう。わくわくして来ませんか。

ワクチン接種の順番がやっとやって来ました。眼科と皮膚科の医師は、かかりつけ医のワクチン接種事業に参加できませんでした。３月17日（水）に、県医師会より「自施設以外の医療機関において新型コロナウイルスワクチンの接種を受ける医療従事者等の接種権付予診票の送付について」という長々とした表題の通知が来ました。
終わりに「なお、接種時期については、ワクチンの供給状況が不透明であるため、現時点では具体的な**スケジュールをお伝えすることができません。**」３月19日にはハガキで貴施設の新型コロナワクチン接種先医療機関は箕岡内科医院と通知を受けました。調整中ですので曜日・時間・人数は、予約可能になりましたら医療機関よりご連絡いたしますので、事前のお問い合わせはご遠慮ください。連絡してはいけないようなのでひたすらご連絡を待つのみ。待てど連絡はなく。自施設で接種される医院にはワクチンが搬送されて一回目、二回目とされていく中、我々は忘れられているのかと我慢を強いられました。１か月過ぎての４月23日（金）に箕岡内科の担当者からお電話をいただきました。４月28日（水）か30日（金）のどちらかに接種されませんかと。翌日が「昭和の日」で休みなので28日の午後２時にお願いしました。接種は、筋肉注射なのでインフルの皮下注射よりは痛くないとのこと。接種量も0.3mlとインフルの0.5mlよりも少なく皮膚に25ゲージ針が刺さる時に痛いと思うぐらいで注入圧は感じず。揉まないでくださいねと、やさしく言われて終了。20分間待合室で待機してくださいと。ワクチンについてのパンフレットを読んだり、テレビのワイドショーを見たりで待機時間が過ぎました。行きと同じく帰りも徒歩で帰宅。良い散歩が出来ました。２時間後注射

された局部に熱感が有りじんわりとした痛みが出てきました。６時間後注射された左手を外側にあげてみました。水平になるとピリピリとした痛み。腰の方に手を回そうとすると結構な痛み。寝る時は右手を下にして寝ました。翌朝４時に目が覚めて左手を真横にあげようとすると45度から痛くなり60度以上には挙げられませんでした。前に曲げるのには痛みが無く助かりました。12時には手を挙げてみると60度までは痛くなくなりましたが一日中いつもより肩が張る感じで首を左に曲げると痛く感じました。右利きの眼科医は、左手に直径８センチほどの凸レンズを持ち眼底検査のために倒像鏡検査をします。翌日は休日なのは正解でした。４月30日（金）二日目の午前４時、90度まで左手は楽に上げられましたが120度になるとピリピリ、12時には手を後ろにまわしても痛くなくなりました。お蔭様で２日後の診療はスムースにできました。発熱や体調不良にもなりませんでした。３週間後の二回目接種を待ちましょう。

二回目の方が副反応は出やすいとのこと、でもしてもらうしかないし・・・。接種後30分で注射部が腫れた感じがしてきました。今回は、手を後ろにまわしても痛くはないが、重い感じ有り。寝る時に左手を下にすると前回より痛く感じました。翌朝３時に目が覚めるとじんわりとした圧迫感有り。真横に30度挙げると痛く感じマグカップを持つと痛く感じました。左手で右手の肘から上に触ると痛く感じました。前回より注射部が前になったのでしょうか？午後には左手を90度まで上げないと痛くはない状態で改善しました。幸い診療には問題ありませんでした。しかし、午後７時に風呂に入る時、寒気を感じました。悪寒でしょうか？シャワーでお湯をかけていないと寒い感じがします。発熱？ゆっくり湯船につかってと言っても10分位ですが、早めに夕食をいただいて寝てしまいました。幸い発熱もなく翌朝にはほぼ普通に左手を上げ下げできるようになりました。やれやれ一安心です。軽い副反応で済みました。新型コロナは油断をすると再燃しています。100年前のスペイン風邪は３年かかって収束に向かいました。まだ１～２年かかると思って覚悟を持っていかなければならないことと思いましょう。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　消化器内科

中村（なかむら）　耕樹（こうき）

今年度から市立三次中央病院へ赴任いたしました中村耕樹と申します。出身は安芸高田市の向原町です。三次に赴任してきて、幼少期に見た時と同じ景色に感慨深い想いを抱いております。夏には馬洗川で魚釣りをしたり、冬にはスキーをした楽しい思い出があります。

私は平成23年に広島大学を卒業後、広島市民病院で初期研修を行い、広島大学消化器・代謝内科へ入局し、広島市民病院で後期研修を行いました。広島大学大学院では消化管グループに所属し、消化管癌の内視鏡診断・治療や発癌について勉強させていただきました。

現在、自分の専門科以外の一般内科疾患の患者さんへの診療に四苦八苦しながら取り組んでいます。三次中央病院は有難いことに各科の垣根を越えて相談しやすい先生方ばかりでとても感謝しております。コメディカルの方々もレベルが高くいつも助けていただいています。これから、備北地区の医療のために開業医の先生方・関連施設の皆様の力になれるよう微力ながら尽力して参りたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。

市立三次中央病院　消化器内科

大田垣（おおたがき）　真（しん）

令和３年４月より市立三次中央病院消化器内科に赴任しました大田垣真と申します。平成31年に広島大学を卒業後、JA尾道総合病院での初期研修を経て、この春より赴任して参りました。もともと向島という島育ちのため、生活圏内に海がないという環境に全く慣れていないこともあり早く馴染めるか不安ではありますが、少しでも早く三次の医療に貢献できるよう精進して参ります。精一杯努めさせていただきますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　消化器内科
小田部（おたべ）　和果（のどか）

４月から市立三次中央病院に赴任しました小田部和果と申します。広島大学卒業後、JA広島総合病院で初期研修を行い、市立三次中央病への赴任となりました。

三次は初めての地であり、内科医として駆け出しでございますので至らぬ点が多々あるかと思います。少しでも皆様のお力になれるよう日々精進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

市立三次中央病院　内科
平田（ひらた）　裕二（ゆうじ）

令和３年４月１日より市立三次中央病院内科にて勤務させて頂いている平田裕二と申します。平成31年に自治医科大学を卒業後、県立広島病院で初期臨床研修を行い、市立三次中央病院へ派遣となりました。内科医として駆け出しでございますので至らぬ点も多く、皆様には御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。少しでも早く皆様のお力になれるよう、日々精進させて頂きます。よろしくお願い致します。

市立三次中央病院　循環器内科
髙永甲（たかえこう）　有司（ゆうじ）

2021年４月より三次中央病院循環器内科に勤務しております髙永甲有司と申します。よろしくお願いいたします。

2011年に広島大学を卒業し、初期研修（呉共済病院）、後期レジデント（安佐市民病院、広島赤十字・原爆病院）を経て、昨年までは広島大学病院で大学院生をしておりました。

こちらに赴任し１か月経ちますが、まだまだ不慣れな部分が多く、ご迷惑をおかけしております。熱意のあるレジデントの先生方や経験豊富な先生方に刺激を受けながら、皆さんのお役に立てるように精進して参ります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　循環器内科
森本（もりもと）　皓大（こうだい）

今年度より三次中央病院循環器内科にて勤務させていただいています森本皓大と申します。私は平成31年３月に広島大学を卒業し、JA尾道総合病院で１年間、広島大学病院で１年間初期研修をさせていただきました。初期研修終了後は広島大学循環器内科に入局し、循環器内科医としては今年が１年目になり、市立三次中央病院が初めての赴任先となります。

赴任して１ヶ月ほど経ちますが、新しい環境でまだまだ慣れないことも多く、戸惑ってばかりで、周りの先生方に迷惑をかけることも多く、申し訳ないと思うばかりです。一方で、循環器内科の先生方だけでなく、他科の先生方も気にかけていただき、気軽に相談させていただくことができる環境で診療を行うことができており、充実した日々を過ごせているのと同時に先生方の診療レベルの高さに自分自身もっと成長しなければならないなと感じさせられます。

この三次中央病院の先生方はもちろんのこと、周囲の開業医の先生方にもお世話になりながら、研鑽を重ね、一般内科医・循環器内科医として三次地区の医療に貢献できるように日々精進していきたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

市立三次中央病院　呼吸器内科
鳥井（とりい）　宏彰（ひろあき）

2021年度より呼吸器内科として勤務しております鳥井と申します。三次地区医師会の先生方からは日々貴重な症例をご紹介いただき、また時には逆紹介させていただき、大変お世話になっております。

私は大分県出身で平成27年に熊本大学を卒業した後、縁があって広島で入職し、これまでに広島市立広島市民病院、JA広島総合病院、JA吉田総合病院等で勤務してきました。広島大学の第２内科（呼吸器内科グループ）に所属し、急性呼吸不全や、慢性呼吸不全の治療、肺癌、緩和治療を中心に従事しております。

ここ数年の呼吸器領域の治療の進歩は目覚ましく、次々と新たな知見や、治療法がでてきております。患者様の生活の質を少しでも向上できるように、常に最新、最善の医療を提供できるように診療にあたらせていただきます。

至らぬこともあるかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　呼吸器内科
山根（やまね）　愛（あい）

今年度より市立三次中央病院呼吸器内科に勤務させていただく山根愛と申します。

平成30年に広島大学を卒業後、広島大学病院で２年間の初期研修を修了し、昨年度までJA吉田総合病院に一般内科として勤務しておりました。

新しい環境の中で、ご迷惑をお掛けすることもありますが、呼吸器内科の先生方をはじめ、他科の先生方も熱心に指導してくださり、恵まれた環境にあることを感謝しております。

至らぬ点が多々あると思いますが、少しでも早く皆様のお力になれるよう、日々精進致しますので、よろしくお願い致します。

市立三次中央病院　糖尿病・代謝内分泌内科
石原（いしはら）　文江（ふみえ）

今年度から市立三次中央病院　糖尿病・代謝内分泌内科で働かせていただくことになりました、石原文江と申します。今年の３月までは広島市立安佐市民病院で２年間初期研修をしており、このたび広島大学　代謝内分泌･糖尿病内科に入局いたしました。三次に引っ越して１ヵ月が経ち､徐々に三次での生活にも慣れてきたと思います。出身は広島市内なので、可部に住んでいた時も広島市内とは比べ物にならない雪と寒さに驚いていましたが、三次はもっと寒いと伺っておりますので、少しずつ慣れていきたいと思います。寒さで風邪をひかないか少し心配ですが、雪が降るのは楽しみにしています。

糖尿病・代謝内分泌内科医としても一般内科医としてもまだまだ駆け出しですが、この１ヵ月で様々なことを経験させていただき、自分の至らない点に歯がゆい思いをしたり、たくさんの方々の優しさに触れて嬉しい思いをしたりと、目まぐるしい日々を送っております。

これから地域の方々に少しでも貢献できるように精一杯努力していこうと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　腎臓内科

京田（きょうだ）　尚子（なおこ）

今年度より三次中央病院に勤務させていただくこととなりました京田尚子と申します。腎臓内科として、微力ながら備北地域に貢献していけるよう、日々励んでいければと思います。また同時に内科医としてもレベルアップできればと考えています。

４月から勤務を開始し短期間ではありますが、周囲のスタッフや患者様など、凄く温かい環境で働くことができています。幼少期から中学時代まで三次市で過ごしたこともあり、今後は医療者として恩返しできることがあれば嬉しいです。宜しくお願い致します。

市立三次中央病院　外科

上田（うえだ）　大介（だいすけ）

令和３年４月より赴任いたしました上田大介と申します。外科医師として参りましたが、その中でも呼吸器外科を担当いたします。

出身地は島根県邑智郡邑南町の旧瑞穂町で、三次市から地理的にもやや近く、気候にも部分も類似点がある地域です。日本医科大学（東京）を卒業したものの、そのまま東京で働くイメージが湧かず、2010年にJターンとして広島に参りました。初期臨床研修医としてJA尾道総合病院に勤務し、その後広島大学原爆放射線医科学研究所・腫瘍外科に入局、外科や呼吸器外科の研鑽を積みながら現在に至ります。呼吸器外科医は、現状では当院に私一人のみですので、門番でもあり最後の砦でもあるため非常に大きな責任を感じています。肺癌をはじめ、気胸や感染症などの良性疾患医についても適切な医療を提供できるよう、各科と連携して尽力して参ります。地域の患者さんが、より自宅から近い病院で治療を受けたいと希望されるのは当然ですので、可能な限り三次・広島県北地域の砦としての役割を果たしていければと考えております。難しい症例については広島大学病院とも協議・連携しながら治療を進めていきたいと考えております。

三次・広島県北の医療に貢献できるよう頑張りますので、何卒宜しくお願いいたします。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　外科

伊藤（いとう）　林太郎（りんたろう）

令和３年４月より市立三次中央病院外科に赴任しました伊藤林太郎と申します。平成26年広島大学卒業後、広島大学病院で２年間初期研修後、広島大学外科学に入局いたしました。平成28年より広島大学病院消化器外科、平成29年よりJA広島総合病院呼吸器外科、平成31年より呉共済病院一般外科で研鑽して参りました。

大学生時代は登山、自転車ツーリング、柔道など様々な活動をして参りました。しかし現在のコロナ禍の状況では遠出ができず、次第に趣味が食べ飲み歩きになってきております。三次中央病院は隣にワイナリー、その先には地産食材を取りそろえたトレッタ三次と素晴らしい環境があり幸せを感じております。また日本酒も美和桜、瑞冠といった三次市のお酒から隣の庄原市のお酒まで楽しめて非常に素晴らしい土地だと感じております。

外科は体力仕事の側面もあり、体力維持のため三次に赴任後も週に３－４回ほど馬洗川の河川敷をランニングしたり、通勤は三次駅前から病院まで自転車を使ったりしております。ただ、消費したカロリー以上に摂取カロリーが多いことが悩みの種です。

これからは三次の医療を担う一員としてできる限りの貢献をして参りたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

市立三次中央病院　外科

岡本（おかもと）　暢之（のぶゆき）

今年度より三次中央病院へ赴任しました、岡本暢之と申します。

平成27年に杏林大学医学部を卒業し、その後初期臨床研修医として２年、消化器外科の診療医として１年、計３年間広島大学病院で勤務し、昨年度まで３年間廣島総合病院の外科で勤務しておりました。

一般外科を専門として、これまで胃癌、大腸癌などの悪性疾患から胆嚢炎、虫垂炎、腸閉塞などの救急疾患まで幅広く経験しました。また、腹腔鏡手術も数多く経験しており、特に救急疾患に対する腹腔鏡手術は少し自信があります。消化器外科に関するお困りごとがあれば、ご気軽にご相談いただければと思います。

特技は中高大と12年間部活動をしていた少林寺拳法です。段位は四段を取得しており、過去には高校全国大会で準優勝の経験もあります。今では運動不足で体がなまってしまっていますが、少林寺拳法の「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」の精神を胸に、日々診療にあたる様にしています。

三次での生活は初めてで不慣れなことも多いですが、皆様のお役に立てるように日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いします。

会　員　紹　介

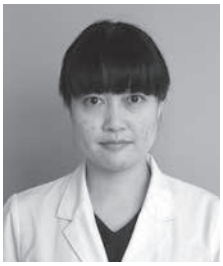
市立三次中央病院　産婦人科

平野（ひらの）　章世（ふみよ）

今年度より、市立三次中央病院産婦人科勤務させていただきます卒後４年目平野章世（ひらのふみよ）と申します。生まれも育ちも広島で、広島市立基町高校、広島大学を卒業しました。初期臨床研修は広島大学病院と東広島医療センターで１年ずつ行い、広島大学医学部産婦人科に入局し、昨年度は安佐市民病院で勤務していました。

産婦人科は胎児超音波検査から悪性腫瘍まで非常に範囲が広い学問であり、手術のみならず診断から治療、その後のフォローまでを一貫して行えることを魅力に感じ診療しています。

後期研修医として毎日勉強の日々ですが、三次地区の医療に少しでも貢献できるよう精進いたします。ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



市立三次中央病院　産婦人科

益野（ますの）　麻由（まゆ）

はじめまして、産婦人科１年目の益野麻由と申します。出身大学は広島大学で、初期臨床研修は１年目を広島大学病院で、２年目を東広島医療センターで研修を行いました。ふるさと枠卒であり、多くの先輩方が赴任されている市立三次中央病院に勤務することを楽しみにしておりました。

昨年度までは研修医として様々な科をローテーションしていたため、この４月は産婦人科のことのみを考えながら診療にあたることをとても新鮮に感じました。自分自身で治療方針を考えながら診療する上で戸惑うことや分からないこともまだまだたくさんありますが、上級医の先生方から多くの事を教わり、病棟・外来の助産師さんたちに支えていただきながら、早く成長して三次の方々のお役に立てるよう頑張っていこうと思っております。

何かとご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願い致します。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　耳鼻咽喉科

廣兼（ひろかね）　桜（さくら）

2021年４月から三次中央病院　耳鼻咽喉科に赴任しました廣兼桜と申します。

高校まで広島で育ち、大学は四国の徳島大学医学部を卒業しました。

初期研修は尾道総合病院、広島大学病院で１年ずつ行い、その後広島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科へ入局し、広島大学病院で１年間勤務したのちに、当院へ赴任いたしました。

まだまだ慣れないことばかりで、至らぬ点もあるかと思いますが、一生懸命頑張ります。

よろしくお願い致します。

市立三次中央病院　泌尿器科

武藤（むとう）　雅幸（まさゆき）

呉市の中国労災病院より着任しました武藤と申します。

佐賀県出身で広島大学を卒業後、廿日市JA広島総合病院、広島市広島大学病院、呉市中国労災病院で勤務しておりました。泌尿器科１年目時には外勤先として１年間お世話になっており、この度の赴任に際して縁を感じております。

これほど広範な医療圏をカバーする病院は県内でもあまりなく、隣県からの受診もあり、驚くとともに身の引き締まる思いです。

元々微力ではありますが、少しでも地域医療に貢献できるように精進して参ります。よろしくお願いいたします。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　麻酔科

城戸（きど）　健士郎（けんしろう）

４月より三次中央病院に赴任いたしました、麻酔科の城戸健士郎と申します。生まれも育ちもずっと広島で、現在は家族が五日市に住んでいる中、三次に単身赴任中です。三次での勤務は初めてで、寒さと虫の多さに毎日辟易しています。趣味というほどではありませんが、中学、高校、大学と部活でクラリネットを吹いてきて、今でも年に１回ほど大学の卒業生で集まって演奏会を開催しています（なかなか練習ができていませんが…）。2016年に広島大学を卒業後、尾道総合病院、広島大学病院で初期研修をさせていただきました。2018年より広島大学麻酔蘇生学教室へ入局後は、広島大学病院、安佐市民病院で勤務させていただき、現在卒後６年目になります。赴任したばかりでまだ慣れないことも多いですが、病院のスタッフの皆さんはとても優しく、働きやすい環境に毎日感謝の気持ちでいっぱいです。今年は専門医試験の受験も予定しているところで、まだまだ未熟ではありますが一生懸命精進して、三次をはじめ県北の皆さんの医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

市立三次中央病院　脳神経外科

髙橋（たかはし）　宏輝（ひろき）

この度2021年４月より三次中央病院脳神経外科に赴任いたしました、髙橋宏輝と申します。広島大学を卒業後、広島市民病院や広島大学病院、呉医療センター、安佐市民病院など各総合病院で経験を積み、この度三次地区でお世話になることとなりました。よろしくお願いいたします。最近の脳外科領域では急性期脳梗塞治療が革新的に進歩し、以前では助けることができず命を落としたり、助かっても寝たきりとなっていた方々を治療することができるようになりました。ただ治療するには発症まもなくのカテーテル治療、血栓溶解薬投与が必須となっており、三次地区医師会の先生方におかれましては脳卒中が疑われる患者様がおられましたら迅速なご相談を頂けましたら幸いです。

脳卒中に限らず脳神経領域で研鑽を積み精進したく思いますので、様々な患者様のご紹介を頂けましたら幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

会　員　紹　介

市立三次中央病院　眼科
二階堂（にかいどう）　貴文（たかふみ）

本年度より三次中央病院眼科に赴任となりました。二階堂貴文と申します。

平成30年に北海道大学を卒業し、北海道大学病院で２年間初期研修を行いました。昨年度より広島大学病院眼科へ入局し、広島大学病院眼科で勤務しておりました。

ながらく広島を離れて過ごしていましたが、穏やかで過ごしやすい気候など改めて広島の過ごしやすさを実感しております。三次市は今まで暮らしたことのない地域でしたが、今のところ不自由なく毎日を暮らしています。

市立三次中央病院では common disease を多く経験し、眼科医としての成長につなげていきたいと考えています。他科の先生方からご紹介いただいたり、こちらから紹介させていただくこともあると思いますので、その時は何卒よろしくお願いいたします。

まだまだ未熟のため、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、備北地域の医療に微力ながら貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

市立三次中央病院　皮膚科
高原（たかはら）　由衣（ゆい）

令和３年４月より三次中央病院に赴任しました、高原由衣と申します。

出身は愛媛県で、平成29年に広島大学を卒業しました。JR広島病院で初期研修後、広島大学皮膚科に入局し、広島大学病院で１年間、県立広島病院で１年間勤務いたしました。

このたび三次に転勤が決まり、初めての土地で不安はありましたが、実際に住んでみると、豊かな自然や優しい人柄に触れ、とても素敵な場所だと感じております。これから夏や冬がくるのは少し怖いですが、乗り越えられるよう頑張りたいと思います。病院では、上司の先生やスタッフの方々に非常に恵まれ、充実した日々を過ごさせていただいています。様々な皮膚疾患をもつ方が来られるため、自身の研鑽の場としてもありがたい環境です。また、慣れない救急外来での対応に四苦八苦しつつも、他科の先生方にも助けていただき、感謝しております。

未熟ではありますが、地域の方々のお役に少しでも立てればと思っています。日々の診療の中で、一歩ずつでも成長できるよう励んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会　員　異　動

（入　会）		異動元	異動日
市立三次中央病院	松　本　千奈実	（広島大学病院	令和２年10月１日）
市立三次中央病院	中　村　耕　樹	（広島大学病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	大田垣　　真	（JA尾道総合病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	小田部　和　果	（JA広島総合病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	平　田　裕　二	（県立広島病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	髙永甲　有　司	（広島大学病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	森　本　皓　大	（広島大学病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	鳥　井　宏　彰	（JA吉田総合病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	山　根　　愛	（JA吉田総合病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	石　原　文　江	（安佐市民病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	京　田　尚　子	（呉医療センター・中国がんセンター	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	上　田　大　介	（広島大学病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	伊　藤　林太郎	（呉共済病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	岡　本　暢　之	（JA広島総合病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	平　野　章　世	（安佐市民病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	益　野　麻　由	（東広島医療センター	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	廣　兼　　桜	（広島大学病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	武　藤　雅　幸	（中国労災病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	城　戸　健士郎	（安佐市民病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	髙　橋　宏　輝	（安佐市民病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	二階堂　貴　文	（広島大学病院	令和３年４月１日）
市立三次中央病院	高　原　由　衣	（県立広島病院	令和３年４月１日）

会　員　異　動

（退　会）		異動先	異動日
市立三次中央病院	木　村　　央	（広島大学病院	令和２年12月31日）
市立三次中央病院	益　田　和　彦	（北広島病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	竹　原　悠　大	（広島大学病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	土　谷　江　奈	（広島大学病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	松　原　直　矢	（神石高原町病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	中　間　泰　晴	（開業	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	広　川　達　也	（安佐市民病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	小　林　英里佳	（安芸市民病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	江　草　弘　基	（JA吉田総合病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	児　玉　竜　一	（広島大学病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	安　達　悠　歩	（広島大学病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	赤　山　幸　一	（東広島医療センター	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	田　妻　　昌	（呉医療センター・中国がんセンター	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	近　藤　賢　史	（広島大学病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	綱　掛　　恵	（広島大学病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	張　本　　姿	（広島大学病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	服　部　貴　好	（県立広島病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	向　井　桜　子	（中電病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	成　田　祥　子	（安佐市民病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	大　庭　秀　雄	（五日市記念病院	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	三　好　庸　介	（三好眼科	令和３年３月31日）
市立三次中央病院	平　島　昌　生	（開業	令和３年３月31日）

Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

Takeda

協和キリン株式会社

KYOWA KIRIN

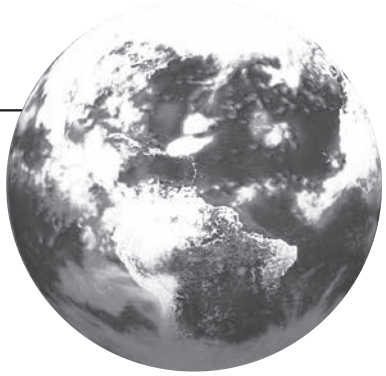
私たちの志　検索

2019年7月作成

佐々木印刷株式会社

とんがったマルで未来を見つめる
情報/文化/創造

地球環境と人にやさしい印刷に
取り組んでいます



TEL 0824-62-3539 FAX 0824-63-2829
広島県三次市東酒屋町306-55　〒728-0023 URL http://www.sskp.co.jp

医師会事業所現況報告

医療センター入院実績（病床数150床）　（R 2.12～R 3. 4）

項　目	12月	1月	2月	3月	合計	平均	備　考
新入院患者	74	65	52	74	265	66.3	
内（救急入院）	6	1	4	3	14	3.5	
退院患者	76	65	59	69	269	67.3	
月末在院患者	111	111	104	109	435	108.8	
在院患者延数	3,525	3,433	3,068	3,359	13,385	3,346.3	
平均入院患者数	113.7	110.7	109.6	108.3	442	110.6	
協同指導回数	0	0	0	4	4	1.0	
実働病床利用率	75.8	73.8	73.0	72.2	－	73.7	
検査外来患者数	811	806	755	903	3,275	818.8	
その他（ドック）	237	197	235	144	813	203.3	

三次市休日夜間急患センター外来実績　（R 2.12～R 3. 4）

市　町	12月	1月	2月	3月	合計	平均	備　考
旧三次市	65	69	42	71	247	61.8	
吉舎町	1	3	2	5	11	2.8	
三和町	2	1	3	6	12	3.0	
三良坂町	1	5	2	4	12	3.0	
君田町	3	0	4	4	11	2.8	
布野町	1	3	3	1	8	2.0	
作木町	1	3	0	0	4	1.0	
甲奴町	1	1	2	2	6	1.5	
その他	10	6	6	7	29	7.3	
合　計	85	91	64	100	340	85.0	

医師会日誌

令和2年12月1日～令和3年3月31日

12．2　• 巴杏170号　編集委員会
（医師会多目的室）
12．3　• コロナウイルス医療体制整備会議
（広島県三次庁舎）
12．9　• 執行部会　（医師会多目的室）
12.10　• コロナウイルス医療体制整備会議
（広島県三次庁舎）
12.22　• 広島県医師会　市区郡地区医師会長会議（広島県医師会館/WEB配信）
12.23　• 広島県医師会　情報担当理事連絡協議会（広島県医師会館/WEB配信）
• 執行部会　（医師会多目的室）
12.24　• 備北メディカルネットワーク　理事会
（医師会多目的室）
1．5　• 広島県医師会理事会（WEB配信）
1.13　• 執行部会　（医師会多目的室）
1.14　• コロナウイルス医療体制整備会議
（広島県三次庁舎）
1.15　㊐学術講演会
演題　「高齢者の不眠はこう診る睡眠薬はこう処方する～フレイル進行までに実行しておきたい適切な薬剤調整～」
講師　福山市民病院　精神科・精神腫瘍科　科長　平　俊浩先生
（三次市福祉保健センター/WEB配信）
1.20　• 合同役員会
・新型コロナウイルスワクチン接種体制構築について
（医師会多目的室）
• 医療従事者等への新型コロナワクチン接種体制構築WEB会議
（広島県医師会館/WEB配信）
㊐学術講演会
演題　パーキンソン治療の現状とオピカポンへの期待
講師　岡山脳神経内科クリニック
院長　柏原健一　先生
（WEB配信）
1.24　• 全国有床診連絡協議会中四国ブロック会総会・研修会（WEB配信）
1.26　• 広島県医師会　市区郡地区医師会長会議　（WEB配信）
1.27　• 急患センターWG（医師会多目的室）
• 運営委員会　（医師会多目的室）
1.31　• 市郡地区医師会　医事紛争担当理事連絡協議会
（広島県医師会館/WEB配信）
2.10　• 執行部会　（医師会多目的室）
2.17　• 広島県医師会　財務委員会
（広島県医師会館）
2.18　• 産業医研修会　実地研修（水明園）
• 三次地区医療センター　寄付金贈呈式（三次ロータリークラブ様より）
（医師会多目的室）
2.22　• 広島県医師会　市郡地区医師会長会議　（医師会多目的室）
2.24　• 執行部会　（医師会多目的室）
2.25　• 初期診療セミナー⑳「臨床倫理研修」（市立三次中央病院ほか/WEB配信）
2.26　• 新型コロナワクチン接種体制に係る基本型接種施設及び連携型接種施設向け連絡会　（WEB配信）
3．3　• 市郡地区医師会　新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会
（広島県医師会館/WEB配信）
3．4　• 広島県備北保健医療福祉推進協議会（いきいきネット）（医師会多目的室）
3．5　• 臨床病理研修会
（庄原赤十字病院ほか/WEB配信）
3．9　• 巴杏170号　発行
3.10　• 執行部会　（医師会多目的室）

3 .11 • 備北地対協理事会
（三次グランドホテル）
• 広島県医師会　産業医部会
（WEB 配信）
3 .12 • 在宅医療介護連携推進研修会
（WEB 配信）
3 .13 • 三次市　新型コロナワクチン接種説明会(三次まちづくりセンター)
3 .17 • 理事会
・三次地区医師会　令和3年度予算について
・新型コロナウイルスワクチンンの接種体制について
・粟屋事業本部設置について
・三次農業協同組合との事業連携協定について
・給与規程の見直しについて
（医師会多目的室）
3 .18 • 広島県医療審議会　保険医療計画部会　（WEB 配信）
3 .24 • 執行部会　（医師会多目的室）
3 .25 • 備北メディカルネットワーク臨時総会　（医師会多目的室）
3 .30 • 広島県医師会　市郡地区医師会長会議　（医師会多目的室）

原稿募集

下記要領により公募しますので、ご投稿をお待ちします。原稿締切り日はありません。

記

「論　壇」

2,000字程度。題目自由。紙上匿名不可。

「私の主張」「私の趣味」

2,000字程度。紙上匿名不可。但し原稿に氏名の明記のない場合は断わります。

「文芸・芸術作品」

随筆、短歌、俳句、絵画、書、写真など。400字程度(本号１頁掲載範囲)

「採　否」

制限字数過多あるいは執行部個人や会員個人を誹謗したり、内容が本紙にそぐわない場合、巴杏編集委員会で審査の上、返却することもあります。

※ファックス伝言板にも奮って投稿願います。

編　集　後　記

今年の中国地方は5月15日と早い梅雨入りとなりました。これは統計がある1951年以降、２番目の早さだそうで、今夏も猛暑が予想されています。引き続きコロナ対策に加え、熱中症対策も重要となりそうです。

巻頭言では星田前会長に三次市の新型コロナウィルス感染症の現状についてお話いただきました。コロナ以前の生活に戻れるのはいつになるのでしょうか？

特別寄稿では、福岡誠志三次市長にコロナ禍における三次市の財政と市政について寄稿いただきました。やはり新型コロナウィルス感染症への対応が最優先であるとお考えのようです。

さて、６月末現在、新型コロナウィルス感染症の流行が一段落し、沖縄県を除き緊急事態宣言も解除されました。政府が今夏の東京五輪開催に向けた協議・調整を進めておりますが、少しでも多くの国民が納得できる開催の実現を期待しているところです。

巴杏第171号をお届けします。ご多忙の中、ご寄稿くださいました皆様に感謝申し上げます。

高場　敦久

（編集委員）

栗本　清伸　　安藤　　仁
加美川　誠　　須澤　利文
箕岡　康明　　松尾洋一郎
久行　敦士　　高場　敦久
立本　直邦

発　行／一般社団法人 三次地区医師会
発行日／令　和　３　年　７　月
印　刷／佐々木印刷株式会社

江の川を渡る三江線と鯉のぼり　５月

多田　　誠（巴杏164号より）